

うちの学校では毎日朝読書をしていきます。週3日やったり期間を決めたりしても身に付かないでしょう。テストの日でも、朝は読書です。

森吉中学校
柴田校長先生

むすぶ

全市町村「子ども読書活動推進計画」策定完了!!

「第2次秋田県読書活動推進基本計画」は4月施行

「子ども読書活動推進計画」は、市町村が主体的に読書活動を推進するための拠り所となるもので、「子どもの読書活動の推進に関する法律」において、各市町村が策定することになっています。

平成28年3月31日までに、秋田県内全ての市町村が策定を終えることになりました。この計画に沿って、各市町村は、各地域の図書館や図書室を拠点として、学校やボランティアと連携しながら実情に応じた読書推進を行うこととなります。読書の楽しさを知り、生涯にわたって読書に親しむことのできる子どもたちが育つ土台づくりは終了したことになります。

来月23日は「子ども読書の日」です。子どもが積極的に読書活動を行うことができるように、県内の全市町村が図書館や学校での取組を予定しています。

また、県の「読書活動推進基本計画」は3月で終了します。都道府県で唯一の読書推進条例をもつ県として、図書館を拠点とする読書活動の充実と県民運動の推進体制を整備し、県民の読書活動推進の土台づくりはできました。4月からは、2次計画に基づく読書推進がスタートします。

「子ども読書の日」(4月23日)に関する取組実施予定数の変化

年度	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27
策定市町村数	5	6	12	18	23	25

年度	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27
実施市町村数	20	23	24	25	25	25
件数	84	124	168	174	150	191

県立図書館による 読書活動支援



今年度、県立図書館は、「打って出る図書館」と名称を変えて、市町村の図書館や公民館図書室を延べ166回訪問し、情報提供や助言を行ってきました。訪問回数を減らして滞在時間を長くすることにより、多岐にわたる質問に応じたり、他館の取組についての詳しい情報を提供したりすることができるようになりました。

また、県立学校に対して、『映画やテレビに登場した文学』『感動!スポーツ』などのテーマ毎に、30~40冊の図書資料をまとめた「セット貸出」の広報を強化したことにより、例年より約1,100冊多い6,947冊(31校で187セット)の利用がありました。

また、八郎潟町との人事交流では、県立図書館司書が新館の八郎潟町立図書館長として、図書館サービスや業務体制の整備に当たりました。

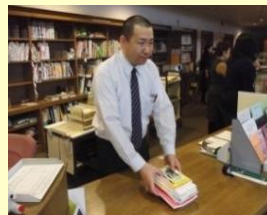
来年度も、市町村や県立学校のサポートを重点施策として継続する予定です。

「人と本の出会いに感謝」

人事交流記

県立図書館情報サービス班 主査 鎌田憲明

私は、八郎潟町教育委員会に所属しておりましたが、人事交流で昨年4月から県立図書館に勤務させていただきました。早いもので一年が終わりとうとしております。初めて図書館職員として仕事することになり、情報サービス班に配属されました。本の貸出・返却・レファレンスなどの窓口業務や各種展示、市町村巡回、



研修など幅広い経験をさせていただき、図書館の顔ともいえる窓口で仕事できたことは、本を通じて利用者の皆さんとつながる貴重な経験となりました。

昨年5月に八郎潟駅前オープンした「えきまえ交流館 はちパル」は図書館の機能も充実しました。今後も、県立図書館との連携を密接に行い、図書館の職員の皆さんとのつながりを生涯の財産として仕事に役立てていきたいと思っております。

図書委員が大活躍!!



平成 27 度 審査結果

秋田県高等学校図書館報コンクール

高等学校の図書館報は、図書委員会の活動をまとめたり本の魅力を紹介したりすることで、読書への関心を高める広報紙です。毎年この時期に、県内各高等学校の図書館報を集めてコンクールが行われます。

今年は17校から力作が出品されました。審査員は、「読書イベントの取組やおすすめ図書、図書館の利用状況を紹介する定番記事に加えて、『18歳選挙権』『戦後70年』『様々な文学賞』『デジタル書籍と紙の本』など、タイムリーな話題を高校生の目線で捉えたものもあり、読み応えがありました。」と感想を述べていました。

2月15日(月)より2月28日(日)まで、県立図書館に展示しました。来館者の中には、母校の作品を探して見入っている人もいました。

- 【最優秀賞】大館国際情報学院高等学校「図書館報」
- 【優秀賞】六郷高等学校「白い雲」
- 【読書推進賞】秋田南高等学校「図書館報」
- 【委員会活動賞】秋田西高等学校「翠 みどり」
- 【委員会活動賞】大曲工業高等学校「大工図書館報」
- 【図書館運営賞】能代松陽高等学校「松陽図書館報」
- 【企画賞】秋田中央高等学校「緑園」
- 【企画賞】大曲高等学校「天狼星 シリウス」
- 【努力賞】由利工業高等学校「図書館報」
- 【努力賞】羽後高等学校「羽後 図書館報」
- 【奨励賞】十和田高等学校「潜心」
- 【奨励賞】能代高等学校「たかはな」
- 【奨励賞】能代工業高等学校 図書館だより他
- 【奨励賞】本荘高等学校「明窓浄几」
- 【奨励賞】雄物川高等学校「あしかび」
- 【奨励賞】湯沢翔北高等学校「拓(ひらく)」
- 【奨励賞】雄勝高等学校「小町草子」



素敵な学校図書館 見つけた~!!



図書室は「わくわくランド宝島」 由利本荘市立岩城小学校

「わくわくランド宝島」と名付けられた図書室前には、子どもたちを誘う仕掛けがたくさんあります。誰でも壁面の飾り付けに参加できるチャレンジコーナー、地域ゆかりの真田信繁(幸村)のコーナーなどを設け、江戸川乱歩、椋鳩十、世界名作童話のシリーズ全てを面出し展示しています。また、感想を記録した「親子読書カード」と本と一緒に展示して、別の親子が借りられるようにしています。



図書室に引き込む展示が広がります

支援員のチカラ 由利本荘市立本荘南中学校

常駐する図書支援員が、いつでも本の貸出を行うので、教室移動のついでに利用する生徒もいます。授業中も、図書室に大きく掲示された「調べ学習の流れ」に従って、相談に応じています。また、中学生の心に響くPOPが、テーマ展示をより魅力的にしています。



手に取ってみたいくなるテーマ展示

いろいろな本を楽しむ図書室 北秋田市立前田小学校

オープンスペースからつながる図書室には、子どもたちに人気のある児童書のほか、新刊図書や『ONE PIECE』『黒子のバスケ』などの漫画や雑誌も充実しています。「読みたいものがある」図書室には、いつも子どもたちが集まってきます。



キャリア教育の資料も充実

読書が生活のリズムに 北秋田市立森吉中学校

ラジオ体操からスタートし、すっきり目覚めたところで朝読書を行うのが、この学校の日課となっています。また、毎週水曜日の昼の放送で、おすすめの本の紹介や読書ボランティアによる読み聞かせを行っています。扱う本を図書室の蔵書の中から選んでいるので、貸出の増加につながっているそうです。また、情報委員の手になる様々な掲示物も図書室利用を促しています。



図書室前の「おすすめの一冊」コーナー

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>